

“新規制基準をクリアしたら原発は安全”って、本当？

福島原発事故を受けて、規制庁は新しい規制基準を7月に決めようとしています。再選を果たした松江市長は、マスコミのインタビューに「原発の稼働にあたっては、新規制基準をクリアすることが大前提」「原発の安全対策を世界最高水準に引き上げるということは、当然この規制基準をクリアすることが必要」と、新しい規制基準をクリアすれば原発の安全が保障されるかのような発言をしています。



ですが、肝心の福島第一原発は高い放射線量のため、中に入って詳細な事故原因を検証することができません。この福島原発事故で得られた教訓が、新しい規制基準に反映されていなければ、新規制基準をクリアしても原発の安全は保障されたことにはならないのでしょうか。

— の様な中、島根原発3号機は、「新規原発ではない」として稼働が迫られようとしています。この原発が稼働すると、私たちの目の前で少なくとも40年間は動くこととなります。私たちは、“これ以上、危険なものを残したくない”と、3号機の稼働阻止のため、裁判に訴えました。裁判の中で3号機の安全性が問われていくこととなりますが、「新規制基準」をクリアすれば安全が保障されるなどと判断させてはなりません。「新規制基準」にはどんな問題があるのか知っておきたいと思います。

♡ **7月10日（水）**

18:00～

♡ **県民会館307号室**

♡ **スピーカー**

阪上 武さん

福島老朽原発を考える会代表

資料代 500円



* 阪上武さんプロフィール

千葉県船橋市在住

福島老朽原発を考える会代表として、福島原発問題を追及し続けてこられ、3.11以降、福島県内の子どもたちを原発震災から守るために活動されています。

また、新規制基準作りの開始とともに、ウォッチングし続け、新規制基準が抱える問題を訴えていらっしゃいます。 原子力規制を監視する市民の会事務局

主催：中国電力・島根原子力発電所3号機の運転をやめさせる訴訟の会

連絡先：布野：090-1330-6568・土光090-7138-0730

メールアドレス nonukes@my-s-pace.jp